

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190500660		
法人名	(株)じょうてつケアサービス		
事業所名	グループホーム菜の花豊平館 2階		
所在地	札幌市豊平区豊平3条8丁目1-18		
自己評価作成日	平成24年 8月27日	評価結果市町村受理日	平成24年10月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 24 年 9 月 27 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

有限会社 ふる

自己評価及び外部評価結果

自己 評価	外部 評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、朝の申し送りの際に法人理念・ケア理念を唱和している。ケア理念に沿った認知症ケアについてカンファレンスの内部研修を行った。毎日、今日の目標理念を決め、その日の達成度を介護日誌に記録している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時など近所のお宅庭を見せていただき、お花をもらう事もある。夏祭りに地域の方々が来て下さり、交流の場となった。チェロのコンサートには町内会長、近隣住民の方が参加して下さいました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議には、町内会長にも出席して頂き日常の様子・活動報告をし、認知症の人に対する理解が深まるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者全員から、お話を頂き庭園作りや夏祭りの企画に反映した。町内からのお誘いで、お祭り行列や子供みこしの見学に出掛け、楽しんだ。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市管理者会議・区管理者会議に参加している。開設時には入居者様ご家族の相談をしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンスで内部研修を行い話し合いを行った。外部研修に参加したスタッフは、カンファレンスでその内容の報告を行い、スタッフ全員で確認し合う機会をもっている。夜間は防犯の為、玄関の施錠をしているが、日中は開錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内・外研修に参加している。カンファレンスの中でも研修を行い注意をし合ってる。毎日の生活の中で言葉使いの注意をスタッフ間で行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者研修で学んだが、今現在利用されている方はいない。今後、相談・活用していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居・退居時に重要事項や利用料金等の説明を本社の担当者が行い理解していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や来館の際に、意見・要望を伺っている。玄関の入り口カウンターにアンケートボックスを設置している。。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者会議・リーダー会議・カンファレンスの中で、月に一回、代表者・管理者は職員の意見を聞く機会を設けている。管理者がスタッフと個別面談を行った。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	夜勤専従のスタッフがいるので、夜間帯は3名体制の勤務となり、夜勤者の休憩時間の確保・ストレスの軽減になっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内・外研修に参加している。本年は管理者研修に1名参加している。カンファレンスではスタッフ主体の内部研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	菜の花4館の夏祭りに参加し、豊平館での開催では職員の交流も出来た。。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の段階で細かくアセスメントを行っている。日々のコミュニケーションの中から本人の思いを汲み取るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する前に、面談を行い基本情報シート・ホームでの生活で望む事を記入して頂き、お話を伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリなど、その人が必要としているサービスを見極め他の専門職との連携を取りながら、ご家族様とも相談をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	朝の掃除・食事作りなどスタッフと一緒に出来る事を役割を持って楽しみながら行っている。毎月のカレンダー作り・壁飾りをスタッフと共に作成している。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	庭園での野菜作りは、入居者様とご家族様とスタッフと共にやっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔の教え子と手紙やハガキのやり取りをしている。家族以外の友人・知人が面会に来ている。道外に住んでる娘様が休暇で帰って来た時は、住み慣れた家に外泊をされている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人、一人の出来る事、得意な事を把握してアクティビティを決めてお誘いしている。午後からのゆったりとした時間には、リビングで入居者様とスタッフがお話する時間を作ってる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方がいるが、遠方へ移転され、その後の相談・支援は行えていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から希望や意向を汲み取り、検討しモニタリング・アセスメントに反映してケアプランに取り入れている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、それまでの生活歴をご家族様に記入してもらっている。ご本人との会話からも知るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りで、その日一日の状態・状況を伝達し情報を共有し、その日の散歩やアクティビティを決めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	訪問マッサージの先生からアドバイスされた個別の体操をケアプランに取り入れている。ご家族様から若いころ編み物が好きでよく編んでいたと聞き、ケアプランに取り入れた。毎月のカンファレンスで一人ひとりのモニタリングを行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った個人記録を記入し、モニタリングで話し合っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日の生活とは違う楽しみや、家族と一緒に楽しめる行事があると嬉しいというニーズに対応し、チェロ奏者を招いてコンサートを開催した。ご家族様・地域の方もお誘いし大変喜ばれていた。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホームの行事に町内のカラオケの有志の方々が来て下さり懐かしい歌を楽しまれた。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療を受けられている。電話での相談・アドバイスをしてくれ、緊急時には往診にも来てくれる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	本社看護師が週1回来ている。日々の体調の変化等を伝え、相談・アドバイスしてもらえる体制をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された入居者様がいたが、入院時は訪問診療の担当医師から病歴・薬剤情報等を伝えてもらった。入院中は面会に行き、ご本人の様子をみて病院関係者から経過報告を聞き1週間で退院した後も体調の変化を医師に報告し連携をとった。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化について説明し「私が望む・望まない医療」に記入・提出して頂きご本人、ご家族様の意向を伺っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修等で定期的に行い、対応できるように努めている。スタッフは全員、普通救命講習を受講している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々な火災の時間帯を想定した避難訓練を定期的に行っている。災害時に備えて、発電機・ジェットヒーター・ランタン・非常薬・非常食などの災害グッズを準備している。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	命令口調の声掛けをしない事を徹底している。申し送りの際はプライバシーの保護の為、個人の名前ではなく、居室の番号を使っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	リビング食席の席替えでは、ご自分の座りたい場所を選んで頂いた。外食の際は、メニューの中から、ご自分の食べたいものを選んで召し上がっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴後は体操には参加されず、ゆっくり部屋で休まれる入居者様がいます。午後のアクティビティをお休みし、居室で音楽を聴きながら編み物をされている入居者様もいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回の訪問理美容で、カットだけではなくパーマやカラーリングをご本人の好みのヘアスタイルを楽しまれている。ご家族様となじみの美容室に行かれる方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食卓には、ご自分で選んで頂いたお好みのランチョンマットを敷いている。いなり寿司を作ったり、盛り付けや食器のすすぎ・食器拭き等をスタッフと共に行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の健康状態に応じて主食の量を測って、お出ししている。歯科治療のため抜歯した後、義歯の不具合がある場合は、お粥にしている。苦手なものがある場合は別なメニューに変更している。食事量・水分量を表にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科を受けている入居者様もいる。口腔ケアは出来る方には声掛け・見守りを行い、磨き残しは一部お手伝いをしている。チェック表を作りサインをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	現在おむつを使用している方はいないが、排泄の失敗をなくすため、生活チェック表を参考にタイミングをはかり誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操に腹部マッサージを取り入れている。ヨーグルト・バナナを召し上がっている入居者様がいます。散歩や運動も日常的に行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	気分が優れない時は翌日に変更することがある。お好みのお湯の温度・入浴剤の色を選んで頂き、楽しめる工夫をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない時は、スタッフが、お話相手になったり、飲み物をすすめたりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が変更になった時は特に注意深く観察し個人記録に記入し、症状の変化があった場合は往診ドクターに相談している。入居者様の内服している薬について勉強会を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月に一度行事を設け、お花見や外食を楽しまれている。夏祭りではスタッフと共に店先で駄菓子の販売をして楽しまれた入居者様がいた。屋上庭園で野菜や花の水やり・草取り・収穫を楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調・天候に配慮し、近所の公園に散歩に出かけている。ご家族様と遠方までお墓参りに行かれた入居者様もいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様了解のもと、ご自分で現金を所持している入居者様もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じてご家族様への電話でのやり取りをしている。手紙・年賀状も出している。携帯電話を所有し、遠方に住んでいるご家族様との会話を楽しんでいる方がいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月のカレンダーや壁掛けは入居者様と共にその季節に合ったものを手作りしている。地域交流スペースでは、お孫さんと一緒に本を読んだり、ゲームをされている。カウンター受付には季節の花を飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席を囲んで数人でお話をされたり、リビングのソファで横になったり、テレビ見たり自由に楽しまれている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分で作られた季節の花や書道・塗り絵を居室に飾り楽しんでいる。ご家族様やご友人との写真を額に入れて飾っている入居者様もいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングからのトイレの方向がわからなくなる入居者様のために廊下にトイレの標示を付けた。一人ひとりの居室の入り口に手作りの表札を付けている。		